

**公益社団法人 日本経営工学会**  
**第 33 期第 5 回理事会議事録**

日 時：平成 28 年 2 月 20 日（土） 15:00～18:30

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5F 大会議室

出席者：（理事）河野宏和、二ノ宮滋、外館晃、篠田心治、松林伸生、伊呂原隆、稲田周平、  
斎藤文、小西昭士、内田耕平、大久保寛基、皆川健多郎

（監事）高橋勝彦

欠席者：（理事）岩崎昭

（監事）後藤正幸

### 議決事項

#### 1. 第 33 期第 4 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料:1-1)に基づき、第 33 期第 4 回理事会議事録（案）が提示され、議事録として全会一致で承認された。

#### 2. 入会、会員権利喪失承認の件

会員担当理事より、(資料:1-2-2)に基づき、正会員 2 名、学生会員 1 名および 4 月 1 日付の学生会員 2 名の入会申請が報告され、全会一致で承認された。また、(資料:1-2-3)に基づき、会費滞納による会員資格喪失者が報告され、全会一致で承認された。あわせて、(資料:1-2-1)に基づき、平成 27 年度会員異動報告がなされた。

会員資格喪失者については、2 月中に督促請求書を発送するとともに各理事より可能な限り声がけを行うこととし、後日、事務局より、会員資格喪失者一覧に推薦者の項目を追加したリストを各理事へ配信することとした。また、3 月 15 日時点における入金状況を宛先不明の返送者数とともに、会長、会員担当理事および会員委員会委員長へ事務局より報告することとした。

#### 3. 名誉会員推薦候補者の件

会員担当理事より、(資料:1-3)に基づき、今年度は 2 名の会員が名誉会員推薦の条件を満たすことが報告され、全会一致で承認した。

#### 4. 平成 28 年度予算案の件

財務担当理事より、(資料:1-4)に基づき、平成 28 年度予算案が報告された。事務業務委託費の増大やホームページリニューアルに伴い、赤字予算ではあるが、前年度に比べ、43 万円の改善が見込まれる旨の説明がなされた。また、産学連携研究交流会については、平成 28 年度より企画・行事委員会より独立した項目とする旨の報告がなされた。これに対し、ホームページの更新について経費削減の観点から更新回数を制限する方向である一方で、リニューアル費用を新たに計上することの是非について問題提起があり、この点に関して後日再審議を行うことを条件にそれ以外の予算案については全会一致で承認した。

その後、企画・行事担当理事より、産学連携研究交流会について、分科会 1、2 ともに 24 名の有料参加者があったとの報告があり、次年度についてもほぼ同様の収入が見込めるとの説明があった。続いて、今後の収支改善策として、論文誌や経営システム誌の見直し、あるいは会費や大会参加費の増額についても話題が出たが、いずれも慎重な議論が必要であり、次年度以降の検討課題とすることとした。まずは会員獲得のためのイベント開催や、各委員会等における無駄な経費を抑える努力が必要であるとし、今後の実現に向けて、可能なことから進めていくこととした。

#### 5. 平成 27 年度 表彰の件

研究・表彰担当理事より、(資料:1-5)に基づき、平成 27 年度の学会賞（学術）、論文賞、論文奨励賞、実践賞、経営システム賞の受賞候補者が報告された。なお、学会賞（功労）については、今年度は該当者なしとし、優秀学生賞については、表彰者を表彰委員会にて追認する旨の説明があり、全会一致で承認した。

## 協議事項

### 1. 総会開催に関する定款変更について

庶務担当理事より、(資料:1-6)に基づき、総会開催に関する定款変更について、提案、説明がなされた。総会での承認事項となる事業報告及び収支決算報告資料を総会開催日の2週間前までに代議員に送付するため、定款第16条に定められている総会の開催時期を現在の「5月」から「5月または6月」に変更する必要がある旨の説明があり、全会一致で承認した。改正にあたっては、総会における承認が必要となるため、総会の議題とすることとした。なお、現在、大会規則においても春季大会の開催時期を「3月4月5月」と定めているため、あわせて「3月4月5月6月」へと変更することが望ましいとの意見があり、こちらについては、大会委員会より次回理事会(5月21日)に提案し、協議することとした。

### 2. 平成28年度通常総会の開催について

庶務担当理事より、(資料:1-7)に基づき、平成28年度通常総会の開催について、提案、説明がなされた。出席できない社員(代議員)については、昨年同様に委任状のみとし、書面議決は行わないことを全会一致で承認した。

### 3. 会員増強への布石案の検討について

会員担当理事より、(資料:1-8)に基づき、提案、説明がなされた。まず、学生会員の入会促進について、春季大会および秋季大会の申込書に非会員に向けた学会紹介メールの配信可否を確認する1文を追加した旨の報告があった。続いて、会員増強に向けた今後の取り組みについての提案がなされた。また、各部門における取り組みとして、大会担当理事及び支部担当理事からも報告がなされたが、学生会員の増強に向けた取り組みは必ずしも容易ではないことが共有された。今後とも、イベントの企画等を継続して進めていくことを全会一致で承認した。

なお、賛助会員の退会については、代表者の異動や退職が退会のきっかけとなることも考えられるため、複数名の代表者を立てて運用していく旨の提案があり、全会一致で承認した。まずは、事務局より、賛助会員宛に登録事項を確認する文書を送付し、現在の登録情報の見直し、更新を行うこととした。

### 4. ホームページの更新について

庶務(広報)担当理事より、(資料:1-9)に基づき、今後のホームページの更新作業費用ならびに運用について、下記1~3の提案がなされ、全会一致で承認した。

#### 1. ホームページの更新作業費用について

平均30分、最大で1時間となる更新作業は、1件3,000円、その他の修正等は1件1,000円とする。

#### 2. 運用ルールについて

原則、月1回とし、庶務委員会が全ての依頼を集約し、事務局へ依頼する。

#### 3. ホームページ依頼用メーリングリストの新設について

依頼漏れを防ぐため、メールマガジンと同様にホームページ依頼用のメーリングリストを作成する。

あわせて、過去数ヶ月の更新依頼履歴について報告がなされ、上記1~3については、次年度からの本格的な運用に向けて、今回の理事会後から適用することを全会一致で承認した。

また、ホームページのリニューアルについては、共同研究を希望されている方に向けたページは研究委員会に、経営工学を学びたい方に向けたページは会長ならびに大会担当理事に依頼をしており、現在、内容を精査、検討中である旨の説明があった。

### 5. 過去の大会予稿集のデータ送付依頼について

大会担当理事より、当日資料に基づき、正会員から過去の大会予稿集のPDFデータを入手したい旨の依頼があったとの報告があり、協議の結果、該当論文のコピーを紙ベースで郵送し、費用については、実費(コピー代、送料)を請求することを全会一致で承認した。

## 6. 2016年春季大会における日本IE協会との連携について

大会担当理事より、当日資料に基づき、現在、日本IE協会より、日本IE協会会員企業に対し特別講演の聴講を認めていただきたい、大会および発表申込者については、JIMA正会員価格で受付をしていただきたいといった依頼がある旨の報告がなされた。協議の結果、大会参加費をJIMA正会員と同等の価格とすることで、特別講演のみならず大会全体への参加を促していくことを全会一致で承認した。

## 7. 産学連携研究交流会の今後の開催について

企画・行事担当理事より、分科会1、2の有料参加者数を参考にすると、今後も同様の参加者収入が見込まれるため、8月以降の開催の企画を進めたい旨の提案があり、全会一致で承認した。なお現在、参加者が企業人中心となっている傾向にあるため、大学教員や学生にも対象を広げていくことが必要であるとし、今後の課題事項とした。

## 報告事項

### 1. 退会について

会員担当理事より、(資料:1-2)に基づき、退会について報告がなされた。

### 2. 学生会員増強への現状分析

会員担当理事より、(資料:1-10)に基づき、学生会員増強への現状分析について、報告がなされた。今後、この分析結果の活用について会員委員会の方で検討することとした。なお現状、メールの不達や郵送物の返送等で連絡不能となっている会員が多くあり、今後、登録情報の更新を促すための対応策の検討など、会員管理に向けた取り組みが必要であるとの説明があった。まずは、年会費請求書の通信欄を従来の所属研究部会を確認するフォーマットから、現住所および所属先の変更を確認するフォーマットに変更し、次年度の初回請求を行うこととした。

### 3. Best Presentation Award 審査員の発表会場への割り当てについて(協力依頼)

研究・表彰担当理事より、Best Presentation Award の審査員の増員に伴う審査員の発表会場の割り当てについて、協力依頼があった。

### 4. 2016年度秋季大会について

大会担当理事より、当日資料に基づき、日本IE協会との共同開催WGの開催報告がなされた。現在、共同で行うワークショップの内容を精査、検討中であるとの報告があり、共同テーマについては、各理事から意見をいただきたいとの依頼があった。また、2017年度春季大会については、関西支部の協力のもと、大会委員会にて企画を進めている旨の報告があった。

### 5. 第33期第5回「国際渉外委員会」理事会報告

国際渉外担当理事より、(資料:1-11)に基づき、第33期第5回「国際渉外委員会」理事会報告がなされた。

### 6. 掲載料・別刷代請求一覧について

論文誌編集担当理事より、(資料:1-12)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧について、報告がなされた。

### 7. 業務執行状況報告

代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず河野会長からは、次年度予算案、事業計画案、収支改善策および産学連携研究交流会の開催をはじめとする学会活性化を中心に、学会全般に関して業務の管理と指示を行った旨が報告された。また、あわせてホームページの会長の挨拶ページを更新した旨の報告があった。次に二ノ宮副会長からは、今年度の収支決算並びに来年度予算の検討・精査を中心に行った旨が報告された。また、収支決算資料については、今後、

公認会計士監査、監事監査、理事会承認を経て、最終的に内閣府へ提出する旨の説明がなされた。最後に外館副会長からは、活性化タスクとして産学連携研究交流会の企画と運営の推進を行ったことが報告された。また、今回の理事会で承認された8月以降の開催についても今後企画を進めていく旨の説明がなされた。

※次回第33期第6回理事会は、平成28年5月21日（土）15:00～18:00、慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館5階大会議室にて開催する。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 高橋 勝彦 印

議事録署名人 後藤 正幸 印